

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
1	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第3章 機能要件 1 管理項目 1.1.9 年月日の表示	-	【考え方・理由】 市区町村によって和暦と西暦が異なると、システムが複雑になる上、二次元コード(<u>JIS(JIS X 0510)</u>)により規格制定されているものをいう。以下同じ。)化やOCR読込みに支障が出るため、本仕様書において、「西暦で表記すること」と整理しているもの以外は、全て和暦で表示することとする。	【考え方・理由】 市区町村によって和暦と西暦が異なると、システムが複雑になる上、二次元コード(<u>JIS X 0510</u>)により規格制定されているものをいう。以下同じ。)化やOCR読込みに支障が出るため、本仕様書において、「西暦で表記すること」と整理しているもの以外は、全て和暦で表示することとする。	機能帳票要件の記載との平仄合わせのため訂正	
2	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第3章 機能要件 1 管理項目 1.1.11 続柄	-	【実装必須機能】 外国人住民の続柄については、世帯主との続柄を証する文書(<u>戸籍法(昭和22年法律第224号)</u>)に基づく届出に係る受理証明書若しくは記載事項証明書又は結婚証明書若しくは出生証明書その他外国政府機関等が発行した文書であって、本人と世帯主との続柄が明らかにされているもの)、住民票の写し、住民票記載事項証明書、住民票の除票の写し、住民票除票記載事項証明書によって確認した世帯主との続柄とすること。	【実装必須機能】 外国人住民の続柄については、世帯主との続柄を証する文書(<u>戸籍法</u>)に基づく届出に係る受理証明書若しくは記載事項証明書又は結婚証明書若しくは出生証明書その他外国政府機関等が発行した文書であって、本人と世帯主との続柄が明らかにされているもの)、住民票の写し、住民票記載事項証明書、住民票の除票の写し、住民票除票記載事項証明書によって確認した世帯主との続柄とすること。	機能帳票要件の記載との平仄合わせのため訂正	
3	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第3章 機能要件 1 管理項目 1.3.7 公印管理	-	【実装必須機能】 市区町村長及び職務代理者の公印を管理できること。 <u>指定都市の場合は他区長及びその職務代理者の公印を管理できることも含む。</u> 【考え方・理由】 中核市市長会ひな形を踏襲	【実装必須機能】 市区町村長及び職務代理者の公印を管理できること。 【考え方・理由】 中核市市長会ひな形を踏襲 <u>指定都市の場合は他区長及びその職務代理者の公印を管理できることも含む。</u>	記載内容に合わせ、考え方・理由から実装必須機能に記載位置訂正	
4	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第3章 機能要件 2 検索・照会・操作 2.1.2 検索文字入力	-	【実装必須機能】 ・入力ゆらぎ対応として、「一(全角長音)」と「一(全角ダッシュ)」と「一(全角マイナス)」と「-(全角ハイフン)」、「-(半角長音)」と「-(半角ハイフン、マイナス)」、「 <u>一</u> 全角スペース」と「半角スペース」を区別せず検索条件として指定でき両方が該当として処理されること。	【実装必須機能】 ・入力ゆらぎ対応として、「一(全角長音)」と「一(全角ダッシュ)」と「一(全角マイナス)」と「-(全角ハイフン)」、「-(半角長音)」と「-(半角ハイフン、マイナス)」、「全角スペース」と「半角スペース」を区別せず検索条件として指定でき両方が該当として処理されること。	誤記の訂正	
5	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第3章 機能要件 4 異動 4.2.3.2 軽微な修正	-	【考え方・理由】 軽微な修正とは、職権修正の一部であり住民基本台帳制度上は通常の職権修正と変わらないが、公的個人認証のカード用署名用電子証明書において4情報が変更となると自動的に失効となる不具合を補填するため、新たに住基ネット専用の異動事由として「軽微な修正」を設け、職権修正のうち軽微な修正ではカード <u>用</u> 署名用電子証明書を失効させない対応を行っているもの。	【考え方・理由】 軽微な修正とは、職権修正の一部であり住民基本台帳制度上は通常の職権修正と変わらないが、公的個人認証のカード用署名用電子証明書において4情報が変更となると自動的に失効となる不具合を補填するため、新たに住基ネット専用の異動事由として「軽微な修正」を設け、職権修正のうち軽微な修正ではカード署名用電子証明書を失効させない対応を行っているもの。	誤記の訂正	
6	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第4章 様式・帳票要件 20.0.1様式・帳票全般	-	契印運動機等に使用する場合、バーコードを印字できること。証明書の上部又は左余白にとじ代(<u>15</u> mm程度)を備えることができること。	契印運動機等に使用する場合、バーコードを印字できること。証明書の上部又は左余白にとじ代(<u>＋15</u> mm程度)を備えることができること。	誤記の訂正	
7	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】	第4章 様式・帳票要件 20.0.1様式・帳票全般 住民票のレイアウトに寄せた確認画面イメージ図 図1・図2	-	(異動前)本籍 東京都千代田区霞が関二丁目1番地 (異動後)本籍	(異動前)本籍 東京都千代田区霞が関2丁目1番地 (異動後)本籍	誤記の訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
8	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「機能帳票要件一覧」	0010111	【要件の考え方・理由】 10.3(操作権限管理)において、利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができることとしており、各市区町村の支援措置に係る事務の実情に合わせて、利用者ごとに端末画面上での住所を非表示とすることも妨げられていない。また、支援措置の申出をした者が区間異動を行った場合、異動先区において異動元区で講じていた支援措置情報を参照することは、操作権限の工夫により可能とする。	【要件の考え方・理由】 <u>支援措置対象者に係る住民基本台帳の一部の写しの閲覧又は住民票の写し等の交付は、慎重に行われる必要があるため、エラーを基本とし、必要な審査を実施した上で、エラーを解除できることとする。</u> 10.3(操作権限管理)において、利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができることとしており、各市区町村の支援措置に係る事務の実情に合わせて、利用者ごとに端末画面上での住所を非表示とすることも妨げられていない。また、支援措置の申出をした者が区間異動を行った場合、異動先区において異動元区で講じていた支援措置情報を参照することは、操作権限の工夫により可能とする。	機能ID:0010110と記載内容重複のため訂正	
9	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「機能帳票要件一覧」	0010171	【機能要件】 また、新しい世帯主及び続柄が転入予約情報として取得できない場合(世帯全員が転入する場合)、転入届に印字する新しい世帯主氏名及び転入する他の世帯員の続柄については、転出証明書情報により通知された情報を引用し、印字した上で出力できること。	【機能要件】 また、新しい世帯主及び続柄が転入予約情報として取得できない場合(世帯全員が転入する場合)、転入届に印字する新しい世帯主氏名及び転入する他の世帯員の続柄については、転出証明書情報により通知された情報を引用し、印字した上で出力できること。	誤記の訂正	
10	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「機能帳票要件一覧」	0010456	【機能要件】 記載しない項目(例:日本人住民の住民票の写しにおける外国人住民用項目、記載事項証明書における記載しない項目)については、項目名及び項目内容を*表示とすること。	【機能要件】 記載しない項目(例:日本人住民の住民票の写しにおける外国人住民用項目、記載事項証明書における記載しない項目)については、項目名及び項目内容を「*」表示とすること。	誤記の訂正	
11	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「機能帳票要件一覧」	0010471	【要件の考え方・理由】 記載事項証明書については、分科会における議論の結果、記載しない項目の項目名及び項目内容を*表示とした上で、写しと同じ様式を兼用することとした。	【要件の考え方・理由】 記載事項証明書については、分科会における議論の結果、記載しない項目の項目名及び項目内容を「*」表示とした上で、写しと同じ様式を兼用することとした。	誤記の訂正	
12	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「機能帳票要件一覧」	0010473	【機能要件】 ・記載しない項目は、項目名及び項目内容を*表示とする。	【機能要件】 ・記載しない項目は、項目名及び項目内容を「*」表示とする。	誤記の訂正	
13	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「帳票関連項目等一覧」	0010464	【帳票イメージ等】 (例1)青木太郎が住所A´に転入したと住民票(原票)に記載したが、後日、住所A´は誤記であり、正しくはAであることが分かった場合 ○ 住民票の写し等の証明書に(デフォルトで)記載される異動履歴(抄) 【異動履歴】 <u>平成12年1月5日届出(平成12年1月1日異動(国内転入))</u> <u>留意事項:</u>	【帳票イメージ等】 (例1)青木太郎が住所A´に転入したと住民票(原票)に記載したが、後日、住所A´は誤記であり、正しくはAであることが分かった場合 ○ 住民票の写し等の証明書に(デフォルトで)記載される異動履歴(抄) 【異動履歴】 <u>なし</u>	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
14	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「帳票関連項目等一覧」	0010464	【帳票イメージ等】 (例2)青木太郎が住所A´に転入したと住民票(原票)に記載したが、後日、住所A´は誤記であり、正しくはAであることが分かり、その後、住所Bに転居したと記載した場合 ○ 住民票の写し等の証明書に(デフォルト)記載される異動履歴(抄) 【異動履歴】 <u>平成12年1月5日届出(平成12年1月1日異動(国内転入))</u> <u>留意事項:</u> 平成13年1月5日届出(平成13年1月1日異動(転居)) 異動項目:住所 異 動 前:A 異 動 後:B 留意事項:	【帳票イメージ等】 (例2)青木太郎が住所A´に転入したと住民票(原票)に記載したが、後日、住所A´は誤記であり、正しくはAであることが分かり、その後、住所Bに転居したと記載した場合 ○ 住民票の写し等の証明書に(デフォルトで)記載される異動履歴(抄) 【異動履歴】 平成13年1月5日届出(平成13年1月1日異動(転居)) 異動項目:住所 異 動 前:A 異 動 後:B 留意事項:	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	
15	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	シート「項目詳細一覧」	0010536	(列の削除)	項目分類① 住民票のその他の項目 項目分類② ー 項目分類③ ー <u>項目詳細ー氏名のフリガナ(1.1.18参照)</u>	誤記の訂正	
16	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_機能・帳票要件一覧	0010001_住民票の写し(日本人住民)の考え方 0010001_住民票の写し(日本人住民)のレイアウト(複葉) 0010001_住民票の写し(外国人住民)の考え方 0010004_住民票の除票の写しの考え方	ー	異動後:東京都港区虎ノ門2丁目2番1号 虎ノ門ハイツ101号	異動後:東京都港区虎ノ門2丁目2番1号 虎ノ門ハイツ101号	異動履歴における異動後住所の表記を諸元表にあわせ訂正	
17	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト	0010001_住民票の写し(日本人住民)の考え方の「以下余白」に関する留意書き 0010003_住民票の写し(世帯連記式)の考え方	ー	ページ内にちょうど収まった場合は、【以下余白】を省略する。	ページ内にちょうど収まった場合は、 <u>「以下余白」</u> を省略する。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため【】に訂正	
18	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト	0010001_住民票の写し(日本人住民)の考え方の記載しない項目に関する留意書き	ー	・本仕様書に規定するデータ構造で保管している除票について、その写し又は記載事項証明書を発行しようとする場合、発行対象者の住民票が消除された時点では法に追加されていない項目があった場合は、項目名(例:旧氏)を記載し、項目内容を <u>「* * * * *」</u> とする。	・本仕様書に規定するデータ構造で保管している除票について、その写し又は記載事項証明書を発行しようとする場合、発行対象者の住民票が消除された時点では法に追加されていない項目があった場合は、項目名(例:旧氏)を記載し、項目内容を <u>「* * * * *」</u> とする。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため「* * * * *」に訂正	
19	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト ※旧氏の振り仮名想定版のみの対応	0010001_住民票の写し(外国人住民)の考え方のフリガナに関する留意書き	ー	・漢字名のある外国人住民の場合は、漢字氏名をローマ字氏名の後に併記する。氏名、通称氏名(削除)の後には()でフリガナを付すことができる。氏名欄は全角48文字より多い桁数を用意し、英数字は全角で桁あふれが生じる場合は、必要に応じて半角96文字以上とする。	・漢字名のある外国人住民の場合は、漢字氏名をローマ字氏名の後に併記する。氏名、通称氏名、旧氏の後には()でフリガナを付すことができる。氏名欄は全角48文字より多い桁数を用意し、英数字は全角で桁あふれが生じる場合は、必要に応じて半角96文字以上とする。	標準仕様書 5.3振り仮名・フリガナにおける旧氏の振り仮名に関する実装不可機能の記載内容より訂正	
20	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト	0010001_住民票の写し(外国人住民)の考え方	ー	統合記載欄(【異動履歴】):記載市 <u>区</u> 町村名 統合記載欄(【異動履歴】):削除市 <u>区</u> 町村名	統合記載欄(【異動履歴】):記載市町村名 統合記載欄(【異動履歴】):削除市町村名	誤記を訂正	
21	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト	0010001_住民票の写し(日本人住民)のレイアウト(複葉)	ー	筆頭者: <u>住民 太郎</u>	筆頭者: <u>(該当の記載なし)</u>	誤記を訂正	
22	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_帳票一覧・レイアウト	0010004_住民票の除票の写しの考え方	ー	統合記載欄(消除事由: <u>国内</u> 転出)	統合記載欄(消除事由: <u>転出</u>)	誤記を訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
23	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010004_住民票の除票の写しの考え方	-	統合記載欄(【異動履歴】): (異動履歴の削除)	統合記載欄(【異動履歴】): <u>令和2年3月31日届出(令和2年4月1日異動(転出))</u>	誤記を訂正	
24	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010006_通知の場合の転入届・転居予約の転居届の考え方	-	性別(項目内容): 左寄せ	性別(項目内容): <u>中央</u>	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	
25	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010006_通知の場合の転入届・転居予約の転居届の考え方	-	国民年金(項目内容): <u>「1号」/「任」/「*」のいずれかを記載</u>	(該当の記載なし)	別紙_諸元表の内容より転出証明書情報内の「国民年金種別」を記載	
26	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010006_通知の場合の転入届・転居予約の転居届の考え方	-	識別番号(項目内容) を記載	(該当の記載なし)	別紙_諸元表の内容より識別番号を記載	
27	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010007_転出証明書の考え方	-	在留資格(項目内容): 左寄せ 筆頭者(項目内容): 左寄せ	在留資格(項目内容): <u>中央</u> 筆頭者(項目内容): <u>中央</u>	諸元表の内容により訂正	
28	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010007_転出証明書の考え方	-	児童手当No.1: 資格 <u>あり</u> 児童手当No.3: 資格 <u>なし</u>	児童手当No.1: 資格 <u>なし</u> 児童手当No.3: 資格 <u>あり</u>	誤記を訂正	
29	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010007_転出証明書のレイアウト 0010007_転出証明書の考え方 0010007_転出証明書の考え方の二次元コード(個人)に関する留意書き 0010008_転出証明書に準ずる証明書のレイアウト	-	・一人分ずつの情報を格納した二次元 <u>コード</u> を人数分印字する。	・一人分ずつの情報を格納した二次元 <u>バーコード</u> を人数分印字する。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため二次元コードに訂正	
30	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010009_住民票コード通知票の考え方のお問い合わせ先に関する留意書き	-	・お問い合わせ先の欄(担当課名、住所、電話)は、出力する場所に応じて支所、出張所等を自動選択して出力する。	・郵送のための住所欄は、他様式も同様(他の様式と同じ封筒を使用する)とする。 ・お問い合わせ先の欄(担当課名、住所、電話)は、出力する場所に応じて支所、出張所等を自動選択して出力する。 ・なお、分科会における議論の結果、窓付き封筒の使用を想定して宛先は記載することとし、発行元は封筒に記載すれば良いことから削ることとした。	お問い合わせ先に関する留意書きの配置位置を適正な位置へ記載箇所訂正	
31	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010009_住民票コード通知票の考え方	-	(お問合せ先) < 担当課名 > < 住 所 > < 電 話 >	(お問合せ先) < 担当課名 > < 住 所 > < 電 話 >		
32	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010012_支援措置期間終了通知の考え方の支援措置者が複数いる場合に関する留意書き	-	・「併せて支援を求める者」が複数人いる場合は、「●● ●●、△△ △△、…」と並べて記載、又は「 <u>3</u> その他」に記載することにより対応すること。(5.8(文字溢れ対応)における (削除) 対応を参照。)	・「併せて支援を求める者」が複数人いる場合は、「●● ●●、△△ △△、…」と並べて記載、又は「 <u>4</u> その他」に記載することにより対応すること。(5.8(文字溢れ対応)における パラメータ設定 による対応を参照。)	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	
33	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010013_世帯主変更通知書の考え方の職権による世帯主変更後の取扱いに関する留意書き	-	・職権による変更後の世帯主が実態と異なる場合は、本通知を受けた世帯主等から連絡を受け、さらに、 <u>世帯主変更届</u> を行わせることなどにより、実態に合わせて世帯主を変更する必要がある。	・職権による変更後の世帯主が実態と異なる場合は、本通知を受けた世帯主等から連絡を受け、さらに、 <u>世帯変更届</u> を行わせることなどにより、実態に合わせて世帯主を変更する必要がある。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため世帯主変更届に訂正	
34	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010013_世帯主変更通知書の考え方	-	(お問合せ先) < 担当課名 > < 住 所 > < 電 話 >	(お問合せ先) < 担当課名 > < 住 所 > < 電 話 >	別紙_諸元表の内容と平仄合わせのため項目「担当課名」の記載を訂正	
35	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010013_世帯主変更通知書のレイアウト 0010013_世帯主変更通知書の考え方	-	教示文: <u>9行</u>	教示文: <u>10行</u>	諸元表の内容より訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
36	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010014_世帯主変更依頼通知書の考え方の世帯主変更が必要となる理由の記載に関する留意書き	-	・本通知を受け取った者が、 世帯主変更 が必要となる理由がわかるように、当該理由を選択入力又は手入力で簡潔に記載する。	・本通知を受け取った者が、 世帯変更 が必要となる理由がわかるように、当該理由を選択入力又は手入力で簡潔に記載する。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため世帯主変更に訂正	
37	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_帳票一覧・レイアウト	0010016_職権記載等通知書(日本人) 0010016_職権記載等通知書(日本人)の考え方 0010016_職権記載等通知書(外国人) 0010016_職権記載等通知書(外国人)の考え方	-	項目名のフォント: 諸元表とそろえる	項目名のフォント: 諸元表と異なっている	諸元表の内容より訂正	
38	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010001_住民票の写し	-	項番43(項目名・内容):記載市 区 町村名 項番44(項目名・内容):削除市 区 町村名	項番43(項目名・内容):記載市町村名 項番44(項目名・内容):削除市町村名	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため市区町村名に訂正	
39	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010003_住民票の写し(世帯連記式)	-	項番12(左寄せ・右寄せ): 中央	項番12(左寄せ・右寄せ): 左	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	
40	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010003_住民票の写し(世帯連記式)	-	項番58(型): 全角	項番58(型): 本人氏名型	誤記の訂正	
41	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010004_住民票の除票の写し	-	項番43(内容):【異動履歴】の1行下、枠左端から1文字空け 「届出日」+「届出」+「事由の生じた年月日」+「異動」 +異動事由(「転居」、「職権修正」等)を記載	項番43(内容):【異動履歴】の1行下、枠左端から1文字空け「事由の生じた年月日」+「異動」+異動事由(「転居」、「職権修正」等) +「届出日」+「届出」 を記載	誤記の訂正	
42	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010004_住民票の除票の写し	-	項番51(項目名・内容):記載市 区 町村名 項番52(項目名・内容):削除市 区 町村名	項番51(項目名・内容):記載市町村名 項番52(項目名・内容):削除市町村名	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため市区町村名に訂正	
43	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010004_住民票の除票の写し	-	項番58(内容):最終ページにのみ記載、発行番号から2行空ける、左詰め「この写しは、住民票の 除票 の原本と相違ないことを証明する。」と記載	項番58(内容):最終ページにのみ記載、発行番号から2行空ける、左詰め「この写しは、住民票の原本と相違ないことを証明する。」と記載	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため訂正	
44	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番31(左寄せ・右寄せ): 中央	項番31(左寄せ・右寄せ): 左	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため二次元コードに訂正	
45	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番48(内容):J-LIS既存住基改造仕様書インタフェース編の 転出証明書情報通知レイアウトのうち、世帯共通部分をCSVにて出力 ○ 転出証明書情報送信の 電文レイアウト の該当項目: あたらしい住所 ～ 対象となる人数 ○ データレイアウト: あたらしい住所市町村コード,あたらしい住所,いままでの住所市町村コード,いままでの住所,いままでの世帯主漢字,代表者役職名,代表者氏名漢字,転出届出年月日,転出予定年月日,対象となる人数 ○ サンプルをデータにした例: 13103,東京都港区虎ノ門2丁目2番1号,虎ノ門ハイツ101号,,,,,13101,東京都千代田区霞が関2丁目1番2号,,,,,,,,,住民 太郎,,,,,,,,,△△長(職務代理者),○○ ○○,,,,,,,,,20200701,20200702,0002	項番48(内容):J-LIS既存住基改造仕様書インタフェース編の 転出証明書情報通知レイアウトのうち、世帯共通部分をCSVにて出力 ○ 転出証明書情報送信(838Y)の該当項目: 項番8 あたらしい住所 ～ 項番21 対象となる人数 ○ データレイアウト: あたらしい住所市町村コード,あたらしい住所,いままでの住所市町村コード,いままでの住所,いままでの世帯主漢字,代表者役職名,代表者氏名漢字,転出届出年月日,転出予定年月日,対象となる人数 ○ サンプルをデータにした例: 13103,東京都港区虎ノ門2 ー2ー1 ,13101, 東京都千代田区霞が関2ー1ー2 ,住民 太郎,△△長(職務代理者),○○ ○○字,20200701,20200702, 2	既存住基システム改造仕様書の記載に併せて訂正	
46	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番54(文字溢れ対応): ー	項番54(文字溢れ対応): ○	誤記の訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
47	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番54(内容):J-LIS既存住基改造仕様書インタフェース編の転出証明書情報通知レイアウトのうち、個人部分をCSVにて出力 ○ 転出証明書情報送信の電文レイアウトの該当項目: 転出者情報 ~ 旧氏かな(行政事務標準文字図形名を除く) ○データレイアウト: 住民票コード,個人番号,氏名漢字,氏名ふりがな,生年月日,性別,続柄,本籍市町村コード,本籍,筆頭者氏名漢字,国民健康保険の資格,国民健康保険の退職区分,基礎年金番号,国民年金の種別,児童手当の有無,介護保険の有無,後期高齢者医療保険の有無,第30条の45に規定する区分,在留資格,在留期間等,在留カード等の番号,国籍・地域,在留期間の満了の日,記載年月日1,記載市町村コード1,削除年月日1,削除市町村コード1,通称1,記載年月日2,記載市町村コード2,削除年月日2,削除市町村コード2,通称2,...,通称16,備考,旧氏漢字,旧氏かな ○サンプルをデータにした例: 12345678901,123456789012,住民 太郎,:::,,,じゅうみん たろう,:::,,,319750101,1,02 _____,13101,東京都千代田区霞が関二丁目1番地,住民 太郎,:::,,,1,0,1234567890,2,2,1,1,	項番54(内容):J-LIS既存住基改造仕様書インタフェース編の転出証明書情報通知レイアウトのうち、個人部分をCSVにて出力 ○ 転出証明書情報送信(838Y)の該当項目: 項番22転出者情報 ~ 項番67旧氏かな ○データレイアウト: 住民票コード,個人番号,氏名漢字,氏名ふりがな,生年月日,性別,続柄,本籍市町村コード,本籍,筆頭者氏名漢字,国民健康保険の資格,国民健康保険の退職区分,基礎年金番号,国民年金の種別,児童手当の有無,介護保険の有無,後期高齢者医療保険の有無,第30条の45に規定する区分,在留資格,在留期間等,在留カード等の番号,国籍地域,在留期間の満了の日,記載年月日1,記載市町村コード1,削除年月日1,削除市町村コード1,通称1,記載年月日2,記載市町村コード2,削除年月日2,削除市町村コード2,通称2,...,通称16,備考,旧氏漢字,旧氏かな ○サンプルをデータにした例: 12345678901,123456789012,住民 太郎,じゅうみん たろう,4,19900101,1,02,13101,東京都千代田区霞が関2-1,住民 太郎,1,0,1357924680,2,2,1,1,	既存住基システム改造仕様書の記載に併せて訂正	
48	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番60(内容):※本ページでは、機械読み取り用に、転出証明書の情報を二次元コードにて印字しています。	項番60(内容):※本ページでは、機械読み取り用に、転出証明書の情報を二次元バーコードにて印字しています。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため二次元コードに訂正	
49	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番61(内容):最終ページにのみ記載公印欄に寄せる、公印に重ならない「上記の者について、●●から転出する旨の届出があったことを証明する。」のうち<●●>の部分は各市区町村に合わせ可変	項番61(内容):最終ページにのみ記載公印欄に寄せる、公印に重ならない	記載すべき認証文を諸元表に記載	
50	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番74(項目名):記載市区町村名 項番76(項目名):削除市区町村名	項番74(項目名):記載市町村名 項番76(項目名):削除市町村名	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため市区町村名に訂正	
51	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010007_転出証明書	-	項番82(型):全角	項番82(型):本人氏名型	誤記を訂正	
52	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010009_住民票コード通知票	-	項番19として<住所>を記載 ※以下項番の繰り下げを行う	(該当の記載なし)	お問い合わせ先記載にあたって別紙_諸元表項目に住所の記載がないため修正	
53	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010014_世帯主変更依頼通知書	-	項番13(内容):タイトル行から2行下に「現在、あなたの世帯は、世帯主変更の手続きが必要な状態です。」と記載、すぐ下の行に「つきましては、令和●年●月●日までに世帯主変更の届出を行っていただきますようお願いいたします。」と記載、<令和●年●月●日>部分は各市区町村に合わせ可変	項番13(内容):タイトル行から2行下に「現在、あなたの世帯は、世帯主変更の手続きが必要な状態です。」と記載、すぐ下の行に「つきましては、令和●年●月●日までに世帯主変更の届出を行っていただきますようお願いいたします。」と記載、<令和●月●日>部分は自市区町村に合わせ可変	誤記の訂正および平仄合わせによる訂正	
54	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010015_住所異動届受理通知	-	項番17(内容):前行から1行空けて記載、枠左端から1文字空け文字は【】で囲う	項番17(内容):前行から1行空けてに記載、枠左端から1文字空け文字は【】で囲う	誤記の訂正および平仄合わせによる訂正	
55	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010017_成年被後見人異動通知	-	役所の所在地等は、市区町村に関する情報が記載されている便覧等から入手し、記入。	役所の所在地等は、市町村に関する情報が記載されている便覧等から入手し、記入。	標準仕様書の記載事項との平仄合わせのため市区町村名に訂正	
56	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010018_住居表示決定通知書	-	項番14(型):本人氏名型/全角	項番14(型):本人氏名型	当該項目については、氏名に加え、事業所・施設の名称を記載する場合もあるため訂正	
57	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010019_区画整理等に伴う住所変更通知	-	項番12(桁数/行):14	項番12(桁数/行):13	諸元表に合わせ訂正	
58	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】別紙_諸元表	0010019_区画整理等に伴う住所変更通知	-	項番14(型):本人氏名型/全角	項番14(型):本人氏名型	当該項目については、氏名に加え、事業所・施設の名称を記載する場合もあるため訂正	

住民記録システム標準準拠システム【第5.1版】正誤表

No.	資料名	該当箇所	機能ID	訂正箇所		備考	更新日
				正	誤		
59	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_業務フロー	業務フロー 4.2.2	-	【タイトル】 職権 消除 職権 消除 職権消除・法第30条の50通知	【タイトル】 職権 削除 職権 削除 職権消除・法第30条の50通知	誤記の訂正	
60	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_業務フロー	業務フロー 4.2.2.1	-	【タイトル】 職権 消除 死亡・届出	【タイトル】 職権 削除 死亡・届出	誤記の訂正	
61	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_業務フロー	業務フロー 4.2.2.1	-	【タイトル】 職権 消除 死亡・通知	【タイトル】 職権 削除 死亡・通知	誤記の訂正	
62	住民記録システム標準仕様書【第5.1版】 別紙_業務フロー	業務フロー 4.3.2 住民票コードの異動 住民票コード変更請求	-	住民票コード 変更 通知票	住民票コード通知票	誤記の訂正	